

中野市民憲章（素案）

パブリックコメント募集結果

中野市民憲章素案に対しまして、貴重なご要望・ご提言をお寄せいただきありがとうございます。お寄せいただいたご意見等と、それに対する中野市市民憲章策定懇話会での検討をふまえた市の考え方をまとめましたので、お知らせします。なお、提出いただきましたご意見につきましては、要約しています。

また、素案およびパブリックコメント募集後の原案につきましては、市公式ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

市公式ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/city/shomu/>

問い合わせ先 市役所庶務課庶務文書係 ☎（22）2111（内線211）

○素案前文について（前文表示省略）

提出意見	意見に対する市の考え方
「豊かに実りを産みだす大地」を「実り豊かな郷土」に変更したほうが良い。	前文では、市はどのような自然環境にあるかを表しているため、「豊かに実りを産みだす大地」としました。
現実にある環境悪化、経済不況などの負の側面も見つめ、それを改善するように謳うべき。	市民憲章は、環境問題等の社会情勢に左右されることなく、目標としていただくものと考えています。
水に関する問題があり、天然の水をもっと利用するなど、健康面に気を使った市民憲章にしたら良いのではないかと思う。	健康については、本文2番目で目標としています。
「東に高社の山を拝し西に斑尾の山を望み洋々たる千曲の流れは太古より文化のいきづく地であります。この中野市に生きる誇りと幸せをわたくしたちは子に孫に伝え、さらに生き甲斐のある豊かで住み良いまちづくりを願ひ市民憲章を定め心身のよりどころといたします。」とすべき。	前文では、市はどのような自然環境にあるか、また、憲章は全市民の目標であることを表しています。ご意見にあります、歴史に関する部分につきましては、市は、はるか昔から歴史を刻み、文化を築き、発展してきましたので、市民憲章に反映しました。
主語を明確にするため、書き出しを「中野市は」あるいは「わたしたちのまち中野市は」等にしたほうが良い。	主語を明確にするため、「わたくしたちは」を2文目の冒頭に配しました。
「うるわしき山々に囲まれ」の方が適切。志賀高原の山並みは、山ノ内町です。	「山々」は、高社山、北信五岳等も指し、また、その他市外の山も含まれますが、借景として市民に親しまれているものと考えています。
「逢いよる」の表記の意味が不明で必要ないと思います。	斑尾川、夜間瀬川、篠井川などが、人がめぐり逢うようにして千曲川へ流れ込んでいく様を表しています。
「くらしのよりどころとします。」の表現について、本文は、「まちをつくります」で結ばれ、ポジティブな行動目標であり、暮らしのよりどころとする位置づけは違和感があると思う。	より分かりやすい表現とするため「市民憲章を定め 進みませ」 としました。

○素案本文について

1 「一 花咲き鳥うたい、緑あふれる、環境を護るまちをつくります。」

提出意見	意見に対する市の考え方
「花咲き鳥うたい、水きよらかに、緑あふれる、環境を護るまちをつくります。」とすべき。	
「花咲き鳥うたい、魚およぐ、緑あふれる、環境を護り災害のないまちをつくります。」とすべき。	市の自然等についてのご提案ですが、「花咲き 鳥うたい 緑あふれる」の表現で市の全ての自然を表し、災害防止は、本文2番目で目標としています。
「春は花、秋は木ノ実、夏は水辺、環境を整え安全安心がみちあふれるまちをつくります。」とすべき。	
「花咲き鳥うたい、緑あふれる」だけを「環境」とせず、違う例を議論すべき。	「花咲き 鳥うたい 緑あふれる」で市の自然を表しています。
バラまつりがありますが、しゃくやく等、花を生かしたら人々の交流が良くなると思います。	市民憲章を制定及び実践し、豊かな自然をまもることで、人々の交流も深まると考えています。

2 「一 心身をととのえ、知恵をいかして仕事に励み、安全で伸びゆくまちをつくります。」

提出意見	意見に対する市の考え方
この本文がうまく実践できれば、人間関係や人とのふれあいが自然に良くなるのでは。	健康な心身、安全なまち、産業の発展が、良好な人間関係につながると考えています。
「仕事」を強要せず「出来る役割」に、「伸びゆくまち」を「持続可能な」とすべき。	「仕事」は、全市民が該当するよう、家庭での役割、勉強も「しごと」と捉え、「働ける」としました。
「創意と英知を生かし心ゆたかに仕事の出来るまちをつくります。」とすべき。	
「知恵をいかして仕事に励み」の「知恵をいかして」の部分は、不要ではないか。	「知恵」を一步進め、「新しい物事を考え出す心」との意味である「創意」としました。
「安全で伸びゆくまち」について、「安全」と「伸びゆく」とのイメージが相反し違和感がある。「安全」は、他の項目に含めたほうがよいと思う。	「安全で 創意をいかして働ける まちをつくります。」としました。

3 「一 笑顔あふれ、心豊かに、ふれあうまちをつくります。」

提出意見	意見に対する市の考え方
「笑顔あふれ、心豊かに、差別のない公正な、まちをつくります。」とすべき。	
「笑顔あふれ、心豊かに、平等な、まちをつくります。」とすべき。	
「人を崇め己を律するところのまちをめざします。」とすべき。	
「笑顔あふれ、心豊かに、活力に満ちたふれあうまちをつくります。」とすべき。	
「笑顔あふれ、人権を尊重し、心豊かに、ふれあうまちをつくります。」とすべき。	
「お互いに助け合いすべての市民が安心して生活できるまちをつくります。」とすべき。	
本文の説明内容を少し変えれば良い。	本文は、誰もが理解でき、簡潔な内容であるなどの形式が求められるため、説明内容を現在の形としました。
どんな小さなことでも尊敬し、ほめて自信をつけることがいのように思う。	「笑顔あふれ あいさつゆきかう」で、いただいたご意見を含み、表現しています。
観光客が市民とふれあう機会が多くなり、市民の観光客への接し方が重要となる。市民憲章も、市の内側だけに目を向けるのではなく、「外」から見ても恥ずかしくない、おもてなしの心に溢れた市民が育つような精神をうたうべきと考える。	この本文にあります、福祉、思いやりの心为目标とし、実践していただくことで、ご意見にあります、市外の方にも、素晴らしい中野市民・中野市であると映るものと考えます。

4 「一 子どももおとなも、声かけあって、学びあうまちをつくります。」

提出意見	意見に対する市の考え方
「声かけあって」を「どんな人とも共に」とすべき。	「どんな人とも共に」は、「子どもも大人も」との表現で、表しています
「子どももおとなも、声かけあって、学びあい、安心なまちをつくります。」とすべき。	「学びあい」は「学びあう」で、「安心なまち」については、本文2番目で目標としています。
小さなことでも保育園児から高校生まで、あいさつをしたり、言葉一つでも交流することが大切である。	「あいさつ」や「交流は」とても大切であると考えており、本文3番目で目標としています。
「老人の知恵を尊び四季の行事を通して子供達と共に地域の文化にふれあうまちをつくります。」にすべき。	子どもも大人も共に学ぶことにより、「老人の知恵を尊ぶ」ことにもつながると考えています。
生涯学習を含めた学びについては、次の文化の項目に含めても良いと思います。	生涯学習については、文化だけでなく、個人の課題、趣味等も含めており、この本文で表しています。

5 「一 音楽を愛し、伝統を重んじ、文化のかおるまちをつくります。」

提出意見	意見に対する市の考え方
「音楽を愛し、伝統を重んじ、文化・体育のかおるまちをつくります。」とすべき。	
「歴史を学び、伝統を重んじ、音楽を愛し、文化のかおるまちをつくりましょう。」とすべき。	スポーツ、歴史、具体的な音楽ジャンルを捉えた新たな本文のご提案ですが、スポーツは、本文2番目、歴史は前文、具体的な音楽ジャンルは、この本文の「音楽」でそれぞれ表しています。
「童謡に出てくる情景を目で見、肌で感じるまちづくりをめざします。」とすべき。	
「音楽を愛し」を「芸術に親しみ尊重し」に、「伝統を重んじ」を伝統と新しさのバランスを図るため説明内容を本文にすれば良いと思う。	本文全体で、文化芸術を表しています。また、説明内容を本文の形式で表現しています。
コーラス等声を出すことを盛り上げ、心をつくることを考えたらいいように思う。	コーラスを含めた「音楽」が盛んになることで、心が豊かに育まれ、より良いまちづくりにつながるものと考えます。

6 「その他、市民憲章に盛り込みたい事柄など」

提出意見	意見に対する市の考え方
すべてに安全運転・無難ですが、進取の精神・気性を培う、創意工夫にはげむ・こらす等、一步前へ出る、創造するような文面が必要。	いただいたご意見を参考に素案の検討を行いました。
「スポーツを愛し、親しむ者を応援して、アスリートが輩出するまちをめざします。」とすべき。	スポーツについては、本文2番目にて目標としています。
前市民憲章の不足部分、時代に合わなくなった部分を議論することで新憲章の意義が増す。誰のためか、何のためかを明確にし、一人ひとりの意志が尊重されると良いと思う。	市民憲章につきましては、文章の結びを「します」とし、市民の方、一人ひとりの目標であることを明確にしています。
今までは、脇目もふらず仕事をしてきたことから、人間関係が思うように出来ないことがある。	市民憲章を実践することにより、良好な人間関係が築かれるもとと考えています。
創意工夫を推奨する文言を入れてほしい。素案を作る前に募集してほしい。	「創意工夫」は、同趣旨の言葉を本文2番目に反映しました。市民の皆さんへ意見を募集する場合、何もない状態ではなく、一定の方向性（素案）をお示しして、それに対し、ご意見をいただく方法が良いと考えました。いただいた、ご意見を考慮して素案の修正もできますので、ご理解をお願いします。
「つくります」は、誰がつくるのか、一部の人がつくる等、不明確。「つくりましょう」とすれば、市民皆でつくりましょうという、やさしい呼びかけであり、一人ひとりが参加しやすい。	文章の結びが「つくりましょう」では、実践者が不明確であると考え、「つくります」とし、市民の方、一人ひとりが実際に行なうことを明確にしています。